

★7月22日(土)に武田美通作品展の見学会を行います★

先月お知らせしました通り、久しぶりに三井住友海上9条の会の見学会を行います。皆様、ぜひご参加ください。

ご参加いただける方は、**7月15日までに**お近くの世話人または福田(090-8003-6931)までご連絡ください。

見学会のみ、懇親会のみでも結構です。

日時：7月22日(土)文京シビックセンター1階ギャラリー 14:00 集合

日程：14:00~15:00 武田美通「戦死者たちからのメッセージ」作品展見学 入場無料

15:15~15:45 後楽園駅⇒八丁堀駅 移動

16:00~18:00 懇親会(八丁堀)

会費：懇親会参加者のみ 2,500円

<武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」作品展見学>
添付のチラシをご参照ください。

鉄の骸骨兵語る 戦争の理不尽

作品に魅せられ活動 埼玉・藤内節子さん(78)

鉄の兵士の作品「藤内節子が描く」と藤内さん

戦争の理不尽さや悲惨さを訴える鉄の造形作品を多くの人たちに知ってもらいたいと活動する埼玉県藤原市の藤内節子さん(78)。自分のできること、やるべきこと、気に入ってきたことを自主的に判断して行動すると、意気軒高です。(藤原 孝)

藤内さんと、東京都多摩市にある恵泉女学園大学を訪ねました。その一室のドアを開けると、鉄で作った刃物の骸骨の日本兵らが生々しく、生きていくかのように迫ってきました。

餓死寸前で自らの喉にかきりつゝ一斬を喰らう兵士。手すりや弾の安全ピンを抜き乳首に吸いつくわが子を見下ろす「残された数秒の母子のいちご」。造形作家、武田美通(1935-2016年)の作品の数々です。新聞記者などを経て、60歳近くになってから造形技術を学び創作の道に入りました。

藤内さんは「五十も市民も普通の人。平和なら憎しみ合い殺し合うこともない。それが戦争の中にならざるを得ない。加害者になり被害者にもなることを、武田さんは伝えたかった」と話します。

(13面) (11)

←左は2023年5月3日の赤旗の記事です。

「武田美通・鉄の造形『戦死者たちからのメッセージ』を広める会」の事務局長・仲内節子さんは、商社九条の会の世話人もされています。

仲内さんは2004年に武田さんと出会い作品展を開催してきました。2016年に武田さん没後も「広める会」が作品を管理しています。

7月22日当日は仲内さんに作品の説明をしていただく予定です。

文京シビックセンター最寄り駅

東京メトロ後楽園駅・・・丸ノ内線(4a・5番出口)南北線(5番出口)徒歩1分

都営地下鉄春日駅・・・三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口)徒歩1分

JR総武線水道橋駅・・・(東口)徒歩9分

※当初の計画では<小林多喜二関連築地めぐり>として多喜二が拉致され苛烈な拷問を受けた築地警察署、絶命が確認された前川病院、遺体が運び込まれた築地小劇場跡めぐりを予定していましたが、夏の暑い時期のため、別の機会に行くことにしました。

<懇親会>

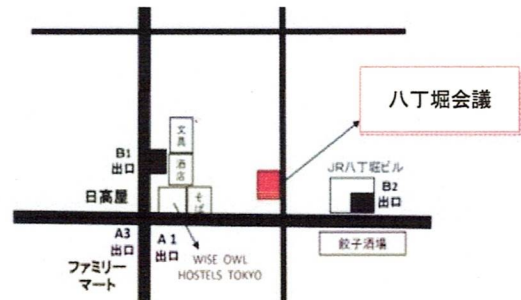
場所：八丁堀会議室

東京都中央区八丁堀 3-2-3

JR・東京メトロ日比谷線 八丁堀駅 A1・A3・B1・B2出口

会費：2,500円

久しぶりにリアルで食事をしながら、皆さんの近況や展示会の感想などお話ししたいと思います。食事は升本の割烹弁当（原材料の時点から保存料を使わない一から職人手づくりのお弁当）とビール、お茶を用意します。



★皆さんからの一言★

今日5月19日は、広島サミットでG7首脳が初の原爆資料館訪問をしたとのこと。私も5月15日に長崎の平和公園と原爆資料館を訪れ、被災地の悲惨な現状を目の当たりにしてきたところです。各国首脳が原爆の何たるかを知り、少しでも平和へ向けての協調が進むことを願っています。5/19 二宮



「広島ビジョン」では核抑止力を肯定した宣言が出され、核兵器禁止条約にまったく触れられませんでした。とても残念です。岸田首相は選挙区が広島というだけで、生まれも育ちも東京です。広島を名乗るなど言いたいです。福田

9条の会たより届きました。ありがとうございます。
5/3 当日の写真や、折笠さん、田村さんのコメントもあり興味深く読みました。
九条の会立ち上げメンバーも、ご存命なのは澤地久枝さんだけになってしまいましたね。
5/18 水谷

そうですね。立ち上げメンバーのその意思を引き継いでいきたいと思います。福田

9条の会のニュースありがとうございます。「商社九条の会」の伊藤千尋さんの講演感動ですね！ぜひ一度拝聴したいですね。来月11日に川崎革新懇の総会がありますので後援会の提案をしてみます。5/18 名倉

それにしても岸田がここまでひどいとは思いませんでした。ますます「新たな戦前」への懸念が強まります。何よりも国民の多くが慣らされてしまって「仕方ない」になっていること、自分で考えることをしないことに恐ろしさを感じています。AIがもてはやされている昨今、怖いことです。4/12 米持



三井住友海上9条の会・事務局

世話人/呼びかけ人 岩越・一色・大石・岡本・折笠・川上・土田・谷・
中澤・蓮沼・伴・翠川・山本・福田

鉄の造形作家 武田美通

「戦死者たちからのメッセージ」

全作品展 連作・30作品

2023年

7月20日(木) ~ 7月25日(火)

Open 10:00 ~ 20:00 最終日は正午まで **入場無料**

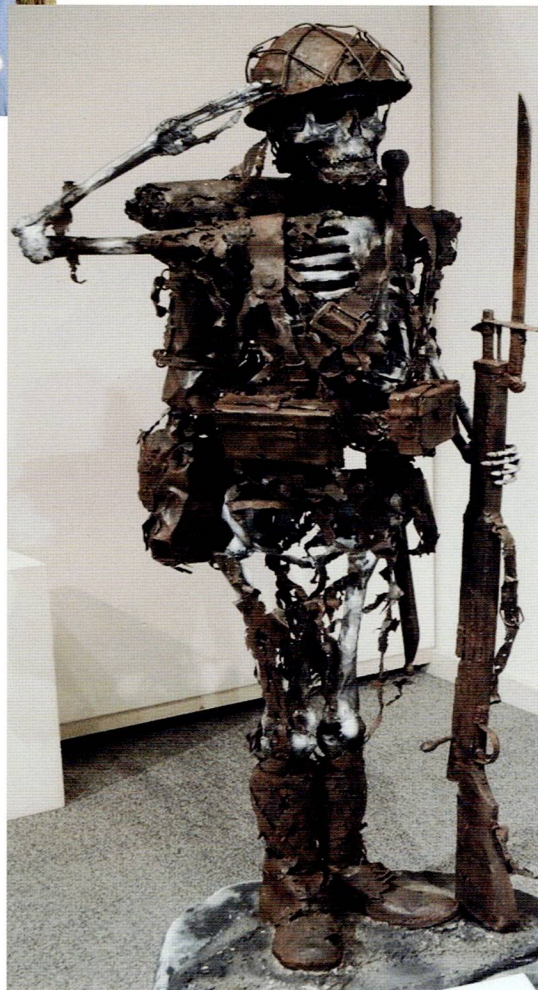
会場: **文京シビックセンター1階ギャラリー**

地下鉄・丸の内線・南北線は後樂園駅下車 三田線、大江戸線は春日駅下車
JR・総武線は水道橋駅下車

残された数秒の母子のいのち



靴を喰う兵士



あの日から77年。
雨ざらしだった白骨のわが身に、
取って当時の兵装をまとい、
長い歳月をかけてようやく故国に帰って
まいりました。
召集令状一枚で戦場に駆り出され、
飢えと病の果てに密林の奥深くで死んで
いった私たちの
最期の願いは届いているのでしょうか。
あの戦争は何だったのか。
すっかりと検証されたのでしょうか。
私たちの死はムダではなかったのでしょうか。
それを確かめたくて
帰ってまいりました。



一瞬の閃光が少年と犬を買いた

帰還兵は問う

武田美通 たけだよしと
(1935年 ~ 2016年)

日本経済新聞記者を経て鉄の造形作家となる。丸木美術館、沖繩平和祈念資料館、各地の平和展などで作品は熱い注目と感動を呼んでいる。作者没後は広める会が管理。現在恵泉女学園大学に保存されている。



HPには作品紹介動画もあります

